



御 市 土 第 3 7 7 号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

御所市長 東 川



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼がありましたので別紙のとおり回答致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県 御所市

道路施策7つのポイントについて、『1.国際競争力の強化』『2.地域の自立と競争力強化』『3.安全・安心の確保』『4.豊かな生活環境の創造』『5.既存ストックの長寿命化』『6.高速ネットワークの効率的活用・機能強化』『7.道路施策の進め方』があげられているが、道路特定財源の一般化が閣議決定されているが、高速道路及び高規格道路の必要性は流通や生活環境の向上を図る上で整備促進が必要である。ただ従前の手法では長期期間と莫大な費用が必要である。この2点の改良が必要である。特に用地の確保については非常に難題な要求や相続関係で長期化しているのが現状である。収用法や民法の一部改正も必要であると考えます。工事費の削減については工法等の選定で一定成果が出ていると思われる。

また、地域に密着した幹線道路、都市計画道路、市町村生活道路については県市町村の財源状況が著しく悪化しているため、維持修繕もままならないのが現状である。そして市町村間の財源格差による整備率の違いもある。今後高速道路や高規格道路へのアクセス道路の予算の重点配備や地元発議による市町村活性化につながる生活道路の整備に対する資金捻出の方法を考えて行く必要があり国費補助に頼る行政システムの改善をしていく必要がある。ただ現行では起案立案から共用開始までにあまりに時間がかかり社会情勢の変化等で当初の目的や企画内容に合致しない事例もある。

○現状

市の交通基盤を飛躍的に高度化する京奈和自動車道の事業が進められ、市内には橿原南・御所インターチェンジおよび御所南インターチェンジ（いずれも仮称）と沿道唯一の休憩場所の開設が予定されています。国道２４号の渋滞緩和や交通事故の減少、広域的な時間短縮など、京奈和自動車道の整備は御所市の地域活性化に大きく寄与することが期待されるため、事業のさらなる推進が望まれる。

国道３０９号及び主要地方道御所香芝線について整備が順調に進んできた。

マイカーの普及などによって路線バス利用者の減少が続いている。

○課題

橿原南・御所インターチェンジ付近において工業系エリアの形成を図りたいが、京奈和自動車道の御所区間整備について専用道路部を先行され平成２８年度一部開通予定であるが一般部については完成未定であり、一般道路部をアクセス道路とした活性化エリアの計画ができない。

橿原南・御所インターチェンジから国道２４号線への主要アクセス道がなく大型車両などのアクセスが困難である。

御所南インターチェンジについてはハーフインターチェンジであり国道３０９号からの和歌山方向の昇降が不可能である

渋滞緩和のため交差点改良が各所で必要であり、快適で安全な道路づくりを計画的に進めていく必要がある。

バス交通は児童・生徒、高齢者・障害者など交通弱者にとって欠かせない交通手段であることから、サービスの向上や路線の維持・充実が必要である。

- ・ 広域的な主要幹線自動車専用道路である京奈和自動車道の整備を促進する。
- ・ 南北の主要幹線道路である国道２４号の拡幅整備を促進する。
- ・ 南北の主要幹線道路（京奈和自動車道、国道２４号、主要地方道御所香芝線）に対応する東西の道路網として、国道３０９号、都市計画道路３・５・９００御所櫛羅線、３・５・９０１西柏柏原線、３・５・９０２元町富田線、３・５・９０３大広相田線、３・５・９０４玉手蛇穴線、３・６・９００御所北町線の整備を促進する。
- ・ 南北の幹線道路である都市計画道路３・６・９０１三室東辻線の整備を促進する。
- ・ 市街化区域及び新市街地整備に伴う交通量増加に対応する幹線道路については、面的整備事業に関連させた一体的整備を図る。
- ・ 市域南部及び北端部における巨勢山丘陵地の開発及び周辺都市の大規模プロジェクト（大淀町の大規模開発、五條市のテクノパーク・奈良）による交通量の増加に対応する道路網として、県道拡幅（大和高田御所線、五條高取線、戸毛久米線、兵庫柏原線、古瀬小殿線）や農免道路と関連させた整備を促進する。
- ・ 京奈和自動車道インターチェンジから主要道路のアクセス道路早期整備が望まれる。
- ・ 京奈和自動車道共用時における交通網の再編と交差点改良が早期に望まれる。
- ・ 上記の道路を整備しネットワークの緊密化を目指し快適で安全な道路づくりを行う。
- ・ 御所市における優れた観光資源である葛城山、金剛山をレクリエーション施設として活性化するため、観光道路を整備する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

奈良県 御所市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	地方道路交付金事業 市道：僧堂朝妻線 道路新設工事 この道路は、国道24号から主要地方道御所香芝線を接続し京奈和自動車道の橿原・大和高田インターチェンジから観光施設である高鴨神社までのアクセス道路であり、また公共施設アクアセンター（汚泥再生処理場）及びかもきみの湯への進入路の役割を担う路線である。	周辺の道路状況は、国道24号と主要地方道御所香芝線を連結する道路として、当該道路より約300m程度北側の路線があるが、縦断勾配が10%前後の急勾配区間があるなど、主要道路間を接続する道路としての機能が十分満たされていない状況である。 このような状況より、当該路線は京奈和自動車道の橿原・大和高田インターチェンジから観光施設へのアクセスと公共施設への大型運搬車両の交通経路を確保するために早期完成が望まれる路線である。	